

採用・ブランディングにも効く!

定員
36名

「1日で“**伝わる広報**”に近づける!

～“ひとり”・“兼任”でも成果につながる実践ノウハウ～

広報担当者セミナー

こんなお悩みありませんか?

- ・発信しているのに「反応が薄い」「反応がない」
- ・採用に活かしたいがどう繋げればいいのかわからない
- ・SNSやプレスリリース、何が正解かわからない
- ・社内が非協力的でネタが集まらない
- ・広報が“作業”になっていて成果につながらない
- ・ひとり担当兼任担当で、戦略を考える余裕がない

講座のねらい

広報に取り組んでいるものの、「発信しても反応がない」「何が正解かわからない」と感じることはありませんか。本講座では、広報の仕事を始めただばかりの方、社内で“ひとりで広報担当をしている方”・“他業務と兼任で広報業務を行う方”を対象に、成果につながる『伝わる広報』の考え方と具体的なアクションについて体系的にヒントを得ていただきます。

プレスリリースやSNS活用、メディア対応といった実務に加え、自社内でネタを収集する方法、各部署の方を協力的に巻き込んでいくためのヒントまで、経験豊富な講師陣にて実践的に講座を進めていきます。

また、他社の広報担当者の方と繋がる交流の場も設けますので、講座の学びとつながりの両方を持ち帰れる実践型講座となっています。

日時

2026年 **8月26日(水)**
10:00～17:00

参加費

賛助会員企業の方 **29,700円(税込)**

未会員企業の方 **41,800円(税込)**

- 本セミナーはWEBでの申込受付となります。お申込み後、「申込確定メール」をお送りします。本メールより参加証・請求書のダウンロードをお願いします。
- 参加費は開催前日までにお振込みください。キャンセル料についてはホームページをご覧ください。
- 同業の方のご参加、プログラムの転用はご遠慮ください。

会場

九州生産性本部セミナー室(福岡市中央区)

対象

広報の仕事に携わる担当者、責任者
ひとり広報、兼任広報をされている方

講師

(株)TMエンタープライズ
代表取締役 **杉本 尚丈 氏**
エフクロスセブン
代表 **古田 久子 氏**
トゥモローゲート(株)
広報発信部 リーダー **田原 莉奈 氏**

講座内容

①なぜ広報は「やっているのに届かない」のか

- ・成果が出ない広報の共通点
- ・「作業型広報」と「戦略型広報」の違い
- ・今の時代に求められる広報の役割

②“伝わる広報”の設計

- ・誰に、何を、どう届けるかの整理
- ・自社の強みを「伝わる言葉」に変換する方
- ・発信の軸（コンセプト）の作り方

③具体施策その1：メディア・プレスリリース編

- ・取材したくなるネタの見つけ方
- ・メディアとの関係構築のリアル
- ・「読まれるプレスリリース」の型と改善ポイント

④具体施策その2：SNS・発信活用編

- ・SNSで成果が出る企業の共通点
- ・採用、ブランディングに効く発信とは
- ・中小企業でもできる実践事例
- ・BtoBでも、認知度が低くても関係ない

⑤広報×組織：社内を動かす仕組み

- ・ネタが集まる会社／集まらない会社の違い
- ・社員を巻き込む仕掛け
- ・“ひとり広報”でも回る体制づくり

⑥これからの広報戦略

- ・コーポレートブランディングの考え方
- ・中長期で効く広報設計
- ・令和時代の広報の進化

講師紹介

(株)TMエンタープライズ

代表取締役 杉本 尚文 氏



1974年生まれ、福岡市出身。福岡県立香住丘高校、九州大学を卒業の後、株式会社TXN九州（現：TVQ九州放送）へ入社。福岡本社営業局、東京支社業務部を経て、2002年より報道部で、夕方ニュースデスク、「九州経済NOW」、「ワールドビジネスサテライト列島LIVE」など、主に経済報道番組の制作ディレクター・デスクとして携わる。プレスリリース選定、企業取材、記者会見をはじめ、企業広報担当者との接点も深い。2011年1月より、(株)TMエンタープライズの代表として、九州から街と企業を元気にするニュースサイト「QBCビジネスチャンネル」を開設。自社制作番組の運営や、各種イベントの企画プロデュースも行う。

トゥモローゲート(株)

広報発信部 リーダー

田原 莉奈 氏



企業理念の設計からデザイン制作まで、コンサルティングとクリエイティブの両側面で一貫したブランドづくりを行う「企業ブランディング」を展開。コーポレートカラーの黒を活かした「ブラック“な”企業」というコピーでSNS運用にも注力し、企業総フォロワー数は75万人を超える。前職では広報部署の立ち上げを経験。その後、現職にて初の専任広報として参画。メディアとの関係構築と企画設計を軸に、攻めの広報戦略を推進。入社1年でメディア露出を5.4倍に拡大し、行政主催アワードの受賞にも寄与。現在は「世界一変わった会社になる」というビジョンの実現に向け、企業の思想や戦略を“伝わる言葉”に翻訳しながら、常識にとらわれない広報活動を推進している。

エフクロスセブン

代表 古田 久子 氏



1993年、開業直後の福岡ドーム（現：みずほPayPayドーム福岡）広報宣伝部に入社。

海外アーティスト公演をはじめとする大型イベントの取材対応や施設PRに携わる。その後、シーホークホテル&リゾート（現：ヒルトン福岡シーホーク）の開業広報を経験。2004年、株式会社福岡サンパレスに広報宣伝担当として入社し、施設ブランディング、情報発信の基盤構築、メディア対応、イベントの企画・運営など、幅広い広報業務を担当。現在は、広報専任者がいない企業や広報ノウハウのない企業に向け、広報業務の代行をはじめ、発信内容の整理、メディア対応の助言など、実務に即した伴走支援型のアドバイザーとして活動している。

お問合せ先

公益財団法人 九州生産性本部

担当：中尾 (312)

〒810-0004 福岡市中央区渡辺通2丁目1-82

電気ビル共創館6階

TEL/092-771-6481 FAX/092-771-6490

<https://qpc.or.jp/>

当本部事業の案内は会員企業・労組のほか、一般の企業・労組にもお送りしております。今後、このような経営・教育等の講座案内が一切不要な場合は、上記に記載の担当者または当本部お客様相談窓口までご連絡ください。